



シアワセアドバイス

あなたの
Happy Styleを見つけるために
…先輩からのメッセージ

宇都宮市 子ども部 子ども未来課

シアワセアドバイス

あなたのHappy Styleを見つけるために
…先輩からのメッセージ

宇都宮市で暮らすひとたちは、
日々、どんなシアワセを感じているのだろう。
どんなシアワセを求めているのだろう。

シアワセのカタチは、人それぞれ。
だから、みんなで語ってみた。

今、ここで生きる人たちの、シアワセのカタチ。
それは、宇都宮の未来を見つめる人たちへの
シアワセアドバイス。

Utsunomiya Happy Style Meeting

宇都宮市では、平成27年9月2日から11月28日にかけて結婚・子育て応援ワークショップ「Happy Style ミーティング(全5回)」を開催しました。参加したのは、独身の若者や結婚に関する企業等で支援に携わる人、子育てまっただなかの人、子どもが既に成人している人など、幅広い年齢の市民のみなさん。それぞれの立場で、宇都宮市での結婚・子育てについて真剣に、前向きに話し合いました。

その市民のみなさまの意見の中から、あなたのHappy Styleを見つけるヒントとなると思われるアドバイスを紹介します。

Contents

- 03 ● 未来へ向かう人の今
- 05 ● 結婚支援者たちの想い
- 07 ● 現在、子育てまっただなか
- 09 ● 宇都宮市での結婚・子育て
- 11 ● 宇都宮市の未来を語ろう
- 13 ● 宇都宮市の取り組み





未来へ向かう人の今

第1回 Happy Styleミーティング…宇都宮市在住・在勤の独身男女の声

独身男性が結婚について思うこと

「恋愛って難しい」

- ・仕事を優先してしまう。会う時間を作るのが難しい。
- ・面倒くさい。 ・時間、お金、気持ちに余裕がない。
- ・街コン、合コンに頼らず自然に出会って恋愛をしたい。
- ・長く付き合った女性と別れた後、次の一歩が踏み出せない。

「結婚はもっと難しい」

- ・新しい出会いの機会がない。
- ・自分自身の将来が見えず、相手に対する責任を負えない。
- ・結婚した友人の話聞いて、結婚生活に不安を感じてしまう。
- ・自分の時間を大切にしたい。

それでも、男女ともに

「いつかは結婚して、子どもを持ちたい」と願っています

男性の理想

- ・収入が安定し責任が持てるようになったら結婚を考えたい。
- ・家事ができる人が理想だが、苦手だとしても協力し合えば良いと思う。
- ・子どもを持って、自分と同水準の教育を与えてあげたい。
- ・子どもは多い方がよい。最低でも2人は欲しい。

語られたのは、将来の結婚・子育ての理想や

パートナー探しの難しさ。

で、そもそも、結婚ってどんなイメージ？

20歳～30歳代の独身のみなさんに、

本音を語っていただきました。

独身女性が結婚について思うこと

「恋愛って難しい」

- ・キャリアアップを優先してしまう。
- ・友人関係で満足。それ以上を求めず積極的にアプローチしない。
- ・職場に既婚者が多く、出会いがない。
- ・恋愛の先の結婚を考えて、相手を選んでしまう。
- ・付き合いたいと思う人がいても自信がなく、自分からは告白できない。

「結婚はもっと難しい」

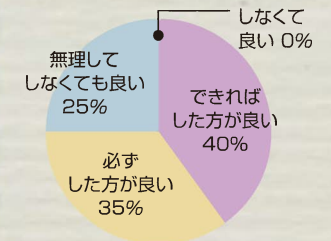
- ・結婚を考える交際相手もいるが、学生なので先が読めない。
- ・両親との同居問題は深刻。
- ・30歳を過ぎても周囲から結婚しなさいと言われない。
- ・失敗したくない。相手に対して妥協ができない。
- ・出会いの機会がなく、結婚を具体的に考えられない。

女性の理想

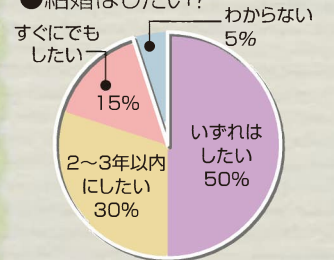
- ・長時間一緒にいても楽しい人。価値観や経済感覚が近い人が理想。
- ・プライベートな時間を尊重してくれる人がいい。
- ・愛情があれば結婚の条件はすべてクリアになると思う。
- ・いつか子どもを持ちたいが、まだ漠然としている。

アンケート結果より

●結婚ってどう思う？



●結婚はしたい？



●結婚したい理由は？

(複数回答)

・家族を持ちたい	73.7%
・子どもがほしい	68.4%
・両親を安心させたい	63.2%
・好きな人と一緒にいたい	52.6%
・やすらぎがほしい	42.1%

●結婚相手に望むことは？

- ・価値観が近い
- ・一緒にいて楽しい、気を遣わなくてよい人
- ・仕事への理解
- ・恋愛感情があること
- ・家事分担
- ・共通の趣味
- ・経済力



結婚に関する市の取り組みについては、13ページをご覧ください。



結婚支援者たちの想い

第2回 Happy Styleミーティング…結婚活動を支援する人たち

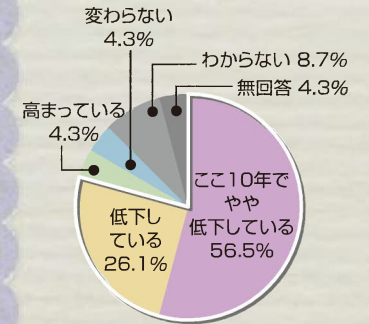
結婚支援者が語った最近の傾向

- ・恋愛以外の趣味や友人との交流等で心が満たされている。恋愛に費やす時間を作らない。
- ・バーチャルなコミュニケーションツールが普及し、生身の人間との対話が困難な人が多い。
- ・仕事中心の生活になっていて、恋愛をする余裕がない。一人で生きやすい社会となり、恋愛の優先度が下がっている。
- ・出会いの機会が少ない。
- ・恋愛をする以前に結婚を意識しすぎて、面倒くさい気持ちになっている。
- ・20歳代前半の男女は「まだ、いいか」と考えて、恋愛以外のことに目が向いている。結婚相談所に登録する人の平均年齢が高くなっている傾向がある。
- ・女性は精神的にも社会的にも強くなっているのに反して、男性が恋愛に消極的になっている。

結婚を望む若者に寄り添い、
 あたたくその姿を見守りながら
 時には結婚に向けた一歩を踏み出すために
 そっと背中を押してくれる人たちは、
 独身男女をどう見ているのでしょうか。
 今、そしてこれから、結婚・子育ては
 どう変わっていくのでしょうか。

アンケート結果より

●若者の恋愛意識の変化は？



●恋愛意識低下の要因は？

- ・自分の趣味に力を入れている
- ・友人との時間が大切
- ・恋愛への興味が薄い
- ・恋愛が面倒だと考えている
- ・他人とのつき合いが怖い
- ・理想と現実ギャップがある
- ・深刻に考えすぎる
- ・傷つくことを恐れる

●結婚を勧める理由は？

- ・安らぎが得られる
- ・好きな人と一緒にいた方が良い
- ・家族を持ったほうが良い
- ・子どもを持った方が良い
- ・老後に一人で居るのは寂しい
- ・両親や親戚が安心する
- ・経済的な安定が得られる

結婚を望む人へのアドバイス

ポジティブに婚活を楽しんじゃおう

婚活パーティーなどさまざまなイベント等に参加して、婚活自体を楽しんでみては？
 積極的に行動すれば、パートナーとめぐりあうチャンスが広がります。

結婚式って素敵なんです

友人の結婚式に列席したり、ブライダルフェアなどに気軽に足を運び、模擬結婚式を見てみては？
 結婚式は、実は結婚生活をずっと支えてくれるとても素敵なイベント。
 最近ではお金がなくても、いろいろなアイデアを用いて結婚式を挙げる事が可能です。

いつか、ではなく今！

〇歳になる前に、と年齢にこだわらず、急に焦るとするのはよくありません。「いつかは…」ではなく「いつ、どうしたい」というようにイメージを具体化してみましょう。

街での出合いや安全なサイトを活用

ネガティブな感情はそっと脇に置いて、今はさまざまな出合いを楽しみましょう。
 意外なところに出合いがあるかも。

